

「ねんりんピック長崎2016」 弓道交流大会 結果報告

「長崎でひらけ 長寿の 夢・未来」(サブタイトル)

1. 期 間 平成28年10月15日(土)～17日(月)
2. 総合開会式 長崎県立総合運動公園陸上競技場(諫早市)
3. 競技会場 島原市霊丘公園体育館・弓道場
4. 石川県チームメンバー
監 督 山本 司
選 手 松村邦寛・亀田美恵子・川岸俊一・岡崎一則・山本輝子
交替選手 石川喜治・藤井 勇
引 率 森坂洋晴

5. 競技 予選通過16チームによるトーナメント
4射×2回×5人の合計40射で競う

6. 成績

17中/40射と健闘するも、決勝トーナメントに進出できませんでした。
今年のボーダーラインは19中以上(14チーム)

(18中の8チームの競射にて2チームを決定)

総合的詳細な結果は「ねんりんピック長崎2016」のHP参照

10月14日 9時 第1団90余名が長崎県に向けて、サンダーバード・新幹線・バスを乗り継いで、17時長崎市の宿舎に到着。第2団は金沢駅にて壮行会の後、1時間遅れで出発。約8時間の長旅となりました。懇親会ではカラオケで弓道チームの団結力を発揮

10月15日(土)の総合開会式、気温も26度以上の夏を思わせる暑い日でしたが、石川選手団の堂々の入場。開会式の後のアトラクションは躍動溢れる園児たちの遊戯・中・高生の一糸乱れぬマーチングバンド・民俗芸能の「のんのこ踊」で世代間の交流を表現。簡素な中にも華やかな催しでした。

弓道とサッカーの合同開会式ではハプニング わがチームの山本輝子さんが特別賞(島原市の誕生日と同日)受賞

会場の霊丘弓道場は築後4年の新しい道場で石川県チームは22番の立で、二日間とも昼頃に終了。(交歓試合は初日の8立目で17時に終了)残念ながら予選通過は達成できなかったが、全員が力を発揮し、1中以上の成績を残した。

二日目の午後は26年前の普賢岳の噴火、終息までの6年間の溶岩ドーム形成・火砕流・土石流の被害と復興の記念館「雲仙岳災害記念館 がまだすドーム」を見学。
(がまだす：がんばろうの方言)

宿泊は和式の旅館で、施設も食事もまずまずで、特に問題になることはありませんでした。たいへん良くしていただきました。

選手のみなさんにはそれぞれに何かを感じられ、勉強されたことと思います。今回の経験を、今後の弓道生活に生かしていただければ幸いです

ゆうゆうクラブ事務局 引率 森坂洋晴